

＜第2次口述試験＞直前一週間のポイント

●過去最大の合格者がでる！

観光庁、JNTO、JTB に勤務する友人、知人に最近聞いた話を総合すると、今年は、**通訳案内士試験を実効支配する大手旅行会社は、ともかく、合格者を増やすことに必死であるそう**だ。
(通訳ガイド料金を下げることに必死！)

合格する「千載一遇のチャンス」だと思い、最後の1分1秒まで全力を尽くせ！

フィギュアスケートに例えれば、三回、四回転んでも大丈夫ということだ。

試験官は、あなたを合格させたがっているのである。

最後まで、絶対にあきらめてはいけない！

●通訳試験は5秒以内くらいに話し始めよ。

試験官による日本文の読み上げのあと、5秒以内くらいに話し始めて、1分以内に話し終えることを目安に準備をせよ！

●通訳試験は、全体のコンテキスト(文脈)の理解(＝記憶)が大切

2013 年度の通訳試験問題文(6題)を見ると、主語と述語の関係のある文は、三つから最大五つで、一番多いのが四つである。しっかり覚えるべきは、この三つから五つの主語、述語の関係のある文である。

枝葉末節を訳そうとモタモタして自滅するケースがあまりにも多い。

非常に残念である。

場合により、この主文のみを、単文(＝短文)でつなげるだけでも十分合格は可能だと思う。5点の評価基準で、3点で合格(Good)である。ともかく、4名に3名が合格するのだから。

●プレゼンテーションの鉄則

下記の鉄則を忘れて、的はずれなプレゼンテーションをするケースが多い。

非常に残念である。

再度、下記を確認し、今日、今から、実践せよ！

＜鉄則その1＞通訳案内士(通訳ガイド)の立場(視点)から

＜鉄則その2＞外国人観光客の訪日旅行をテーマとして

＜鉄則その3＞与えられた「スピーチのトピック(話題)」について話すこと

(＜第2次口述試験対策特別講演会＞の 17 ページご参照のこと)

●プレゼンテーションのテーマは、自分が話せるものを選び

プレゼンテーションのテーマは、ともかく、自分が話せるものを選び。

三つのテーマから一つ選んでおいて、途中で頓挫するケースが多い。

何のための選択か。

●2013 年度は、18 題中 10 題が「日本の事象英文説明 300 選」から出題された

ともかく、「300 選」をよく勉強することだ。

時間的に余裕のない方は、キーワードが入っている最初の一文だけでもいい。

もっと余裕のない方は、キーワードだけでもいい。

キーワードが出てこなくて、自滅する方が多い。

非常に残念である。

●「300 選」は「伝家の宝刀」

話しに詰まったときの、"By the way 〜", "Aside from 〜" は非常手段ではあるが、その場合、「300 選」は「伝家の宝刀」として、大いに役に立つだろう。

●世界文化遺産、無形文化遺産に大注意

＜世界文化遺産＞(World Cultural Heritage)

- ・富士山—信仰の対象と芸術の源泉(2013 年 6 月)(←注意)
- ・富岡製糸場と絹産業遺産群(2014 年 6 月)(←注意)

＜無形文化遺産＞(Intangible Cultural Heritage)

2014 年 11 月 27 日に「和紙」がユネスコ世界無形文化遺産に登録されました。

昨年の「和食」に続いて、2年連続の登録となりました。

- ・和食:日本人の伝統的な食文化(2013)(←注意)
- ・和紙(2014)(←注意)

●フジヤマ、ゲイシャ、サクラ、

2013 年度は、富士山がプレゼンテーションに出たが、2次試験の「定番」であるサクラが出題されなかった。

今年は、サクラ関連問題の出題が強く予想される。

今年、サクラが出たら、来年は、ゲイシャか？

合否判定方法・試験室(重要)

採点方法と合否判定方法(ルール)を知っておくことは、受験者(プレーヤー)として、極めて重要なことです。受験者は、下記を熟知した上で、試験準備を行ってください。

(但し、下記は、通訳案内士試験ガイドライン、JNTO、観光庁、JTBの知人、友人から聞いた話をベースにして、私が推定したものですので、事実と異なる可能性もあります。予め、ご了解の上、お読みください。)

【1】採点票 (Evaluation Form)

通訳案内士試験ガイドラインに記載されていることを基にして「採点票」を作成すると、下記のようになります。

採点票 (Evaluation Form)			
評価項目	評価点(5点満点)	コメント	総合判定
①プレゼンテーション	点		
②コミュニケーション	点		
③文法及び語彙	点		
④発音及び発声	点		

⑤ホスピタリティー(やる気、熱意)(入室から退出までホスピタリティーの精神で!)

【2】採点方法(推定)

日本人試験官および外国人試験官は、4つの評価項目(5点満点)について、5段階の評価をします。

【3】評価点と合否判定(推定)

合否は、評価点の合計点ではなく、個々の評価項目の評価点で判定されます。

●評価点が、3点～5点は合格、1点～2点は不合格となります。

●4つの評価項目の中で、1項目でも1点～2点があれば、その受験者は、総合判定で不合格となります。

5点:(合格) Excellent
4点:(合格) Very good
3点:(合格) Good

2点:(不合格) Poor
1点:(不合格) Very poor

【4】最終的な合否判定方法(推定)

(1)総合判定が、二人の試験官がともに「合格」の場合は、「合格」となります。

(2)総合判定が、二人の試験官がともに「不合格」の場合は、「不合格」となります。

(3)総合判定が、一人が「合格」、一人が「不合格」の場合は、「不合格」とした評価項目について、(コメントを参考にしながら)両者が協議をして、最終的な合否を決めます。

【5】試験室(らしい):「**常在戦場**」の意識を高めるために、携帯、スマホの待受画面にすること。



＜昭和女子大で受験する方へ＞

東京の試験会場である昭和女子大は、教室の音声が廊下までよく聞こえる教室があるので、当会場の受験者は、今から、周りのささやき声を聴く練習をしておくこと。事前に、通訳、プレゼンテーションの内容が分かれば、ゆっくり準備ができます。



＜通訳案内士試験の本質をより深く理解するために＞

●通訳案内士試験事業は、JTB グループが6年連続で受託、実施しています。

2009 年度から 2014 年度までの6年間に渡り、通訳案内士試験事業の運営は、JTB グループの株式会社 ICS コンベンションデザインが、JNTO より受託、実施してきましたが、6年間の受注契約の総額は、3 億 1817 万円で、1 年度あたり、5,303 万円となります。通訳案内士試験事業は、表向きは「一般競争入札」方式にはなっていますが、実態は色々な条件を設定した「随意契約」に近いものになっているので、ICS コンベンションデザイン以外の会社が受注することは極めて困難な状態になっています。私自身も、2009 年度試験事業に関する「一般競争入札」の説明会に参加しているので、事情はよく分かっているつもりです。普通の感覚からすると、「一般競争入札」で6年連続して同じ会社が受託するということは非常に不自然なことです。発注官庁(この場合は、独立行政法人 JNTO)と癒着関係にある会社が連続して受託することは、よくあることで、珍しいことでもありません。つまり、JTB グループは、JNTO とズブズブの癒着関係にあるということです。

●ICS コンベンションデザインによる 2009 年度から 2014 年度までの落札価格と総額

- ・2009 年度、2010 年度通訳案内士試験事業 (93,450,000 円)
 - ・2011 年度通訳案内士試験事業 (56,700,000 円)
 - ・2012 年度通訳案内士試験事業 (55,650,000 円)
 - ・2013 年度通訳案内士試験事業 (55,125,000 円)
 - ・2014 年度通訳案内士試験事業 (57,240,000 円)
 - ・6年間の総額:3 億 1817 万円 (年平均:5,303 万円)
- 上記は、JNTO の下記サイトでご確認いただけます。(2014 年度の例)

http://www.jnto.go.jp/jpn/about_us/contracts_bids/bid_result/bid_results_2014.html

●JTB グループが通訳案内士試験を運営するというブラックユーモア

一方で、無資格ガイド(ヤミガイド)を使い、通訳案内士制度を崩壊させることに奔走してきた JTB グループが、他方では、通訳案内士試験事業を受注して、年間 5,300 万円もの売上げを上げているという事実は、ブラックユーモアそのものでして、通訳案内士試験の受験者、合格者を愚弄しているといえるでしょう。さらに詳しくは、下記サイト(通訳案内士業界の諸問題)をご覧ください。

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/205d9d64395041166aee0c1cfeb425e7>

●ヤミガイド110番

業界の健全化のために、ヤミガイドに関する情報をお知らせください。不正、不法行為を天下に公開したいと思います。

件名:ヤミガイド110番

宛先:info@hello.ac

内容:下記を必ず明記してください。

(1)旅行会社(支店)名(電話番号)、担当者名(携帯番号) (2)ツアーの内容:催行月日、訪問場所、できれば旅行日程表 (3)ヤミガイドの氏名、携帯番号

●JTB 九州が、ヤミガイドを募集した例

このような動かぬ証拠があれば、是非、ご提供ください。

<http://www.hello.ac/exam/pdf/china.pdf#zoom=100.pdf>

●観光庁のアリバイ作りの＜口頭での注意処分＞

JTB グループと癒着関係にある観光庁は、JTB 九州に対して、アリバイ作りのために、簡単なく口頭での注意処分＞でお茶を濁したのみでした。誠に情けない話ですが、カネ儲けのために、官民ともに腐っているのが現状です。

<http://www.recordchina.co.jp/group.php?groupid=40879>